

最寄り店舗の新設

福井県池田町における食料品小売店の運営

～ 役場・商工会・農協との連携による買い物不便の解消～

1 概要

福井県池田町(以下「池田町」)では、地域内の小売店舗の減少により地域住民の買い物に苦労があるという状況を踏まえ、平成21年9月から役場、商工会、農業協同組合の3団体の連携により、「ゆいまと」プロジェクトを立ち上げて、買い物不便の解消に資するため、新たに最寄り店舗を設置して事業を展開してた。

2 背景ときっかけ

池田町は、人口が約3,000人、高齢化率38.9%という中過疎化が進展している。また、町内の中型スーパー2店舗、農業協同組合(以下「農協」)が運営する購買店舗3ヶ所が閉鎖する状況となり、交通手段をもっていない地域住民は買い物に苦労している。このような状況を背景として、役場、商工会、農業協同組合の3団体の連携体制により、「ゆいまと」店舗を設置し、とりわけ役場が関与した「ビジネス」として実証事業を実施した。

3 取組の内容

1. 「ゆいまと」の運営について

運 営 時 間: 8時30分から20時00分(12月31日、1月1日～4日は休業)

取 扱 商 品: 生鮮食料品、惣菜、卵、牛乳などの日配品

飲料カップ麺、パン、菓子類

池田町の農産物、特産物(餅類、惣菜など)

店舗内の取組: 年末年始キャンペーン、バレンタインデーなどをテーマとして特設コーナーを設置して「買い物」を楽しんでもらっていた。



2. 行政との関係について

「ゆいまと」プロジェクトは、池田町が事業の主体となり、体制として池田町農協、池田町商工会が協議会の構成員となって事業を展開していた。また、当該プロジェクトは、総務省の「過疎地域等自立活性化推進調査事業」を活用していた。

4 取組の効果

- 顧客からは、「何でもある」「上等」「池田町のものが買えて良い」などの声があり、最寄り店舗の設置による買い物の不便が解消された。
- 子育て中の主婦からは、「子供が自分で買い物ができる店」としての教育効果も評価された。
- 店舗がコンビニ的な便利さに加え、店員が顧客に対して親切にしてくれるため、特に高齢者の交流の場として、地域コミュニティの形成に繋がっている。
- 土、日曜日にも営業していることや、ちょっとした買い漏らしにも対応できる営業時間の長さが地域住民から評価されている。

5 取組上の工夫

- 店舗スタッフも地元の主婦であり、顧客も顔見知りであることから、「前向きな接遇」「あたたかい対応」ができており、顧客からの要望(新商品の注文や配達希望)にも、できる限りの対応に努めている。
- 季節の行事(節分など)に併せ、店舗でイベントのための特設コーナーを設置し、顧客に対する買い物の満足度を上げている。

6 今後の展望

- 平成23年3月で「ゆいまーと」の取組みは終了している。現在、観光部分を中心とした「まちの市場 こってコテいけだ」の実験店としてリニューアルし、地域資源を活かした地域産品の販売を中心とした観光交流拠点として展開している。

7 参 考

人口等の概要

今立郡池田町

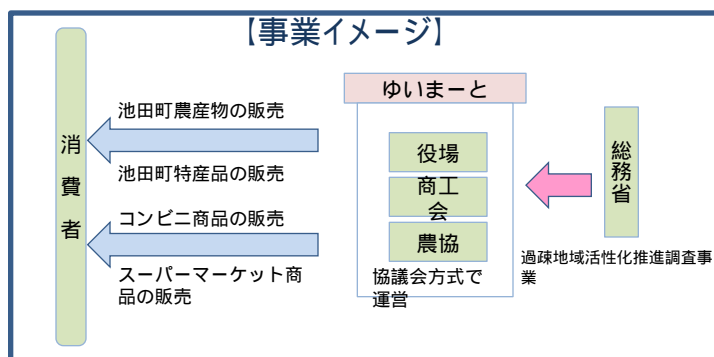
- 人口 3,091 人
- 世帯数 1,009 世帯
- 高齢化率 38.9%
- 飲食品小売店の数 14 事業所



【店舗外観】



【売り場の様子】



【問い合わせ先】

福井県池田町役場

住所: 福井県今立郡池田町稻荷35-4

電話: 0778-44-8004